

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 8 月 8 日 (2019.8.8)

【公開番号】特開 2019-24653 (P2019-24653A)

【公開日】平成 31 年 2 月 21 日 (2019.2.21)

【年通号数】公開・登録公報 2019-007

【出願番号】特願 2017-144943 (P2017-144943)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 1 F

A 6 3 F 5/04 5 1 1 E

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 27 日 (2019.6.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数種類の図柄が設けられた複数のリールを含んだリールユニットと、  
 前面が開口した遊技機筐体と、  
 前記遊技機筐体の正面視における左側にヒンジ機構を介して連結され、開閉可能な前扉と、  
 内部抽せん手段と、  
 前記リールを制御するリール制御手段と  
 を備え、  
 電源断が発生した後、電源断時処理が実行され得よう構成されており、  
 前記遊技機筐体の内部には、  
 前記リールユニットと、  
 前記リールユニットを固定する固定部と、  
 遊技媒体が貯蔵される主タンク部材と、  
 前記主タンク部材の近傍に設置され、前記主タンク部材から溢れた遊技媒体を貯蔵するための補助タンク部材と  
 が設けられており、  
 前記主タンク部材の一部には、前記主タンク部材から前記補助タンク部材へ向かって下るスロープ部が設けられており、  
 前記リールユニットと前記固定部とは導電性を有する複数の係止部品によって保持され得よう構成されており、  
 前記リールユニットと前記固定部とが前記複数の係止部品によって保持されている状態において、前記複数の係止部品の中で、前記遊技機筐体の正面視における最も右側にある所定の係止部品の鉛直下方に前記スロープ部が配置されており、  
 前記補助タンク部材が前記遊技機筐体の内部に設置されている状態において、前記補助タンク部材内に貯蔵された遊技媒体が満杯か否かを検知するための第 1 部材と第 2 部材とを少なくとも有しており、前記第 1 部材と前記第 2 部材との間の距離は前記所定の係止部品の長手方向の長さよりも長くなるよう構成されており、  
 前記リール制御手段は、前記内部抽せん手段により所定の結果が決定された遊技では、

遊技者の停止操作が受け付けられたことに基づいて、所定図柄組合せを停止し得るよう構成されており、

所定の遊技状態であり、且つ前記内部抽せん手段により前記所定の結果が決定された遊技において、遊技者の最終停止操作以外の停止操作が受け付けられたことにより停止された各リールには前記所定図柄組合せに対応する図柄がそれぞれ停止されており、その後の遊技者の最終停止操作に対応した所定のリールに対して所定のタイミングで停止操作が受け付けられて前記所定図柄組合せが停止された後は、前記所定図柄組合せに対応する遊技媒体を遊技者に付与し得るよう構成されており、

前記所定の遊技状態であり、且つ前記内部抽せん手段により前記所定の結果が決定された遊技において、遊技者の最終停止操作以外の停止操作が受け付けられたことにより停止された各リールには前記所定図柄組合せに対応する図柄がそれぞれ停止されており、その後の遊技者の最終停止操作として前記所定のリールに対して前記所定のタイミングで停止操作が受け付けられたにもかかわらず、前記複数のリールが停止したときに前記所定図柄組合せが停止されなかった所定の状況下でも、前記所定図柄組合せに対応する遊技媒体を遊技者に付与し得るよう構成されている  
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

本態様に係る遊技機は、  
複数種類の図柄が設けられた複数のリールを含んだリールユニットと、  
前面が開口した遊技機筐体と、  
前記遊技機筐体の正面視における左側にヒンジ機構を介して連結され、開閉可能な前扉と、

内部抽せん手段と、  
前記リールを制御するリール制御手段と  
を備え、

電源断が発生した後、電源断時処理が実行され得るよう構成されており、  
前記遊技機筐体の内部には、  
前記リールユニットと、  
前記リールユニットを固定する固定部と、  
遊技媒体が貯蔵される主タンク部材と、  
前記主タンク部材の近傍に設置され、前記主タンク部材から溢れた遊技媒体を貯蔵するための補助タンク部材と  
が設けられており、

前記主タンク部材の一部には、前記主タンク部材から前記補助タンク部材へ向かって下るスロープ部が設けられており、

前記リールユニットと前記固定部とは導電性を有する複数の係止部品によって保持され得るよう構成されており、

前記リールユニットと前記固定部とが前記複数の係止部品によって保持されている状態において、前記複数の係止部品の中で、前記遊技機筐体の正面視における最も右側にある所定の係止部品の鉛直下方に前記スロープ部が配置されており、

前記補助タンク部材が前記遊技機筐体の内部に設置されている状態において、前記補助タンク部材内に貯蔵された遊技媒体が満杯か否かを検知するための第１部材と第２部材とを少なくとも有しており、前記第１部材と前記第２部材との間の距離は前記所定の係止部品の長手方向の長さよりも長くなるよう構成されており、

前記リール制御手段は、前記内部抽せん手段により所定の結果が決定された遊技では、遊技者の停止操作が受け付けられたことに基づいて、所定図柄組合せを停止し得るよう構成されており、

所定の遊技状態であり、且つ前記内部抽せん手段により前記所定の結果が決定された遊技において、遊技者の最終停止操作以外の停止操作が受け付けられたことにより停止された各リールには前記所定図柄組合せに対応する図柄がそれぞれ停止されており、その後の遊技者の最終停止操作に対応した所定のリールに対して所定のタイミングで停止操作が受け付けられて前記所定図柄組合せが停止された後は、前記所定図柄組合せに対応する遊技媒体を遊技者に付与し得るよう構成されており、

前記所定の遊技状態であり、且つ前記内部抽せん手段により前記所定の結果が決定された遊技において、遊技者の最終停止操作以外の停止操作が受け付けられたことにより停止された各リールには前記所定図柄組合せに対応する図柄がそれぞれ停止されており、その後の遊技者の最終停止操作として前記所定のリールに対して前記所定のタイミングで停止操作が受け付けられたにもかかわらず、前記複数のリールが停止したときに前記所定図柄組合せが停止されなかった所定の状況下でも、前記所定図柄組合せに対応する遊技媒体を遊技者に付与し得るよう構成されている

ことを特徴とする遊技機である。

< 付記 >

尚、本態様とは異なる別態様について以下に列記しておくが、これらには何ら限定されることなく実施することが可能である。

本別態様に係る遊技機は、

リール基部（例えば、リール枠 MW）の外周に巻き付けられた帯状のリールテープ（例えば、リール帯 MO）を有し、

前記リールテープには、前記リールテープの長手方向に沿って複数種類の図柄が配置されており、

前記図柄の種類として、第 1 図柄（例えば、白セブン図柄）と、第 2 図柄（例えば、ベル図柄）と、を少なくとも有し、

前記第 1 図柄の最大横幅値は前記第 2 図柄の最大横幅値よりも大きく構成されており、

前記リールテープの長手方向における両端部の少なくとも何れか一方には前記第 2 図柄が配置されており、且つ前記リールテープの長手方向における両端部の各々には前記第 1 図柄が配置されておらず、

前記リールテープの長手方向における長さは、前記リール基部における前記リールテープが巻きつけられる面の外周よりも長い

ことを特徴とする遊技機である。